

農業委員会名	1 最適化活動の成果目標												2 最適化活動の活動目標								3 点検・評価結果																	
	(1) 農地の集積					(2) 遊休農地の解消等					(3) 新規参入の促進		最適化活動を行う農業委員の人数	農地利用最適化推進委員の人数	(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数		(2) 活動強化月間		(3) 新規参入相談会への参加		農業委員会の点検・評価結果 (評語)	推進委員等の点検・評価結果																
	前年度末の集積率	目標	実績			目標	実績	実績	目標	実績	目標	実績			目標	実績	目標	実績	目標	実績		評語ごとの該当する推進委員等の人数																
		集積率	農地面積	集積面積	今年度末の集積率																	緑区分解消面積	緑区分解消面積	黄区分解消工程表策定 (有無を記入)	新規発生解消面積	新規発生解消面積	同意 ・ 公表面積	同意 ・ 公表面積	月当たり活動日数	月当たり活動日数 (平均)	活動強化月間の実施回数	活動強化月間の実施回数	新規参入相談会への参加回数	新規参入相談会への参加回数	目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	目標に対し期待を上回る結果が得られた	目標に対して期待どおりの結果が得られた	目標に対して期待を(やや)下回る結果となった
	%	%	ha	ha	C=B/A	ha	ha		ha	ha	ha	ha	人	人	日	日	回	回	回	回		人	人	人	人													
	34.6	67.0	1,210	430	35.6	1.1	1.2	策定しなかつ	0.0	1.3	0.1	0.3	14.0	14.0	6	4.28	3	3	2	1	目標に対して期待どおりの結果が得られた	0	28	0	0													

※ 都道府県は、農業委員会から報告のあった本表を取りまとめて報告

令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：香川県

農業委員会名：善通寺市農業委員会

I 農業委員会の状況（令和4年4月1日現在）

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 R2 年 7 月 20 日

任期満了年月日 R5 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	6
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	14	14	7

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,197
農業経営体数	665

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	712
女性	283
40代以下	41

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	68
基本構想水準到達者	47
認定新規就農者	6
農業参入法人	1
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,010	193				1,210

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	1,210	ha	418	ha	34.6	%
課題	農業従事者の減少、高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散錯圃等が農地の確保・有効利用を図る上での課題となっている。担い手が耕作する農地の分散による作業効率が低下、また、不在村地主等所有者不明農地の増加などに対し、早急の対策を講じて利用集積を図る必要がある。					

- ※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入  
※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう  
※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	12	年度	集積率	67	%
今年度の新規集積面積	3	ha	農地面積(C)	1,210	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	421	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	34.8	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	25.2	ha	農地面積(F)	1,210	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	430	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	35.6	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	102.3	%			

農業委員会の 点検結果	香川県農地機構と連携し、農地の集積等を進めた結果、目標値に到達することができた。引き続き活動を継続するとともに、積極的なあっせん活動を行う必要がある。
----------------	---

- ※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入  
※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2)遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	6	3	3
	ha	ha	ha
遊休農地となった原因は複雑であり、今後は後継者のいない高齢農家の廃業や相続等による不在村地主の発生等の原因から、更なる増加が懸念されており、継続的な所有者への働きかけや、耕作者の確保が必要である。			

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	3	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	1	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	2	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	農林課、農地機構等の関係機関へ遊休農地の状況、解消方法に関する情報収集を行い、農地利用意向調査の結果等を踏まえ遊休農地解消に向けた工程表を策定する。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	ha
---------------------------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.2	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)		%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	黄区分の遊休農地の解消に向けて、農地機構の農地集積専門員と意見交換を行い、工程表を策定した。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	1.3	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月～9月		8月～9月	
	1号遊休農地の面積	6.5 ha	うち緑区分の遊休農地	4.0 ha
			うち黄区分の遊休農地	2.5 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	10月～11月		12月～1月	

農業委員会の点検結果	農業委員及び農地利用最適化推進委員が地区の遊休農地の状況を調査した結果を基に、農業委員会事務局にて調査結果をとりまとめ、農地利用意向調査を行い解消が図られた事例があるなど、一定の成果があった。また、遊休農地所有者への指導を含めた調査活動をより一層強化する必要がある。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	元年度新規参入者	2年度新規参入者	3年度新規参入者
	1 経営体	0 経営体	2 経営体
	2.0 ha	0.0 ha	0.8 ha
課題	担い手の高齢化、後継者不在の農家の増加に伴い、農業の次世代を担う人材の確保が急務となっている。新規就農希望者の多様なニーズと農業現場の実態を的確に把握し、就農相談から経営の開始・定着まで一環したサポート体制を充実・強化し、新規就農者の経営の早期安定化に努めるとともに、後継者不在の農家の経営資産を有効活用するなど、より多くの新規就農者を確保し確実に定着させていくことが必要である。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	28年度	29年度	30年度	平均
	0 ha	1 ha	1 ha	1 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	0.1 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.3	ha
公表URL	<a href="https://www.city.zentsuji.kagawa.jp/soshiki/22/hitonouchiplan.html">https://www.city.zentsuji.kagawa.jp/soshiki/22/hitonouchiplan.html</a>	(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		300.0	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	5	経営体
	取得農地面積	3.1	ha

農業委員会の点検結果	令和4年度の緑区分の遊休農地(4.0ha)について、1.2haの解消を確認した。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

## 2 最適化活動の活動目標

### (1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の人数	14	人

### (2)活動強化月間の設定

#### ①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
11月・12月	遊休農地の解消	遊休農地所有者への農地利用意向確認、農地機構の利用
11月・12月	農地の集積	タブレット端末アプリを活用し、出し手・受け手の意向把握を実施
随時	新規参入の促進	農業相談(毎月1回)開催し、就農に向けての情報提供や農業経営者としての自立を支援

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

#### ②実績

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
11月・12月	遊休農地の解消	遊休農地所有者への農地利用意向確認、農地機構の利用を実施した。
11月・12月	農地の集積	農地機構へ出し手の意向を繋ぎ担い手へ集積した。
随時	新規参入の促進	新規参入を希望する者に具体的な就農に向けた各種制度や農地の取得に関する説明を行った。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	随時	相談会名	農業相談
参加者数	1名	開催場所	市庁舎
相談会の内容	農業相談(毎月1回開催)で新規参入の相談があった際に、新規就農を希望する地域の推進委員等や関係機関と協力して、就農に向けての情報提供をはじめ、農業経営者としての自立を支援する。		
開催時期	随時	相談会名	かがわーくフェア等
参加者数	1名	開催場所	未定
相談会の内容	各種フェア等出展ブースに参加し、新規就農に向けての情報を収集する。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	随時	相談会名	農業相談
参加者数	1名	開催場所	市庁舎
相談会の内容	農業相談において、新規参入の相談はなかったが、新規就農を希望する地域の推進委員等や関係機関と協力して、就農に向けての情報提供をはじめ、農業経営者としての自立を支援する体制を整えた。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対し期待を上回る結果が得られた。
---------------------

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	28
目標に対して期待どおりの結果が得られた	0
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	0

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入

農業委員会名	1 総会・部会の開催実績			2 農地法第3条に基づく許可事務						3 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)				4 違反転用への対応			
	総会 開催数	部会	部会 開催数	1年間の 処理件数	うち 許可件数	標準 処理期間	処理期間 (平均)	総会開催日 の公表状況	申請書締切 日の 公表状況	権限移譲の 状況	1年間の処 理件数	標準処理期 間	処理期間 (平均)	管内の 農地面積	違反転用 面積	違反転用解消のために 実施した活動内容	違反転用 解消面積
	回	設置数	回	件	件	日	日	公表の有無	公表の有無		件	日	日	ha	ha		ha
	12	0	0	49	49	25	25	○	○		53	50	50	1,210	0.20	早期発見・未然防止を目的 に毎月一回、市内巡回を 実施した。	0.20

※1 権限移譲の状況欄は、農地転用許可の権限を有する者について、「都道府県知事」、「指定市町村」、「市町村長」、「農業委員会」のいずれかを記入  
※2 都道府県は、農業委員会から報告のあった本表を取りまとめて報告